



萩谷由喜子著
 (ヤマハミュージック
 メディア 2008)
 請求記号●J113-163

♪ピアニストおもしろ雑学事典： ひとりで5分で読める

高田 涼子★

自分の専攻以外は、意外と知らない音楽知識がたくさんあるのではないだろうか？
 例えば、演奏家の顔や作品は知っていても、その人物像には疎いという人もいるのでは？
 現在25冊所蔵しているシリーズの中の「ピアニスト」編をご紹介したいと思う。

？ ピアノの性能が良くなり、「ピアニスト」と呼ばれる演奏家が出現したのは18世紀後半。
 以来、様々なピアニストが誕生し、たくさんのエピソードを残している。
 皆さんは、次のうち、いくつ答えられるだろうか？

1. ショパンに先立ってノクターンを作曲し、収入の大半を飼っていた猫のエサ代にしていたピアニストは？
2. ロンドンで初めて「リサイタル」という呼称を用いた、右手の小指が8.8cmもある手の大きなピアニストは？
3. 世界中を飛び回り、星の数ほどのコンサートをこなすうちに、開演直前になってプログラムを忘れてしまい「印刷ミスがあるか確かめたいから持ってきてくれ」と言い張ったことがあるピアニストは？
※ このピアニストの楽屋には数名の若手ピアニストが勝手に待機していたという。
4. グレン・グールドの代役でバーンスタインと共演し、ピンチ・ヒッターとして世にでたピアニストは？
5. バッハ・フェスティバルの1リハーサル中に聴いたバッハのカンタータ第147番に感動し、バッハ協会編による3声の声楽曲のスコアをピアノ1台で再現したいと工夫を重ねながら編曲したピアニストは？
※ 自分の演奏会のアンコール用としてプライベートに演奏していたが、評判が良く楽譜を希望する者が続出した。こうして1926年に出版された作品が《主よ、人の望みの喜びよ》である。
6. 1983年に初来日し、NHKホールでのリサイタルはS席5万円！（当時の大卒サラリーマンの平均初任給が10万円）「ピアニストは冒険することを決して恐れてはいけない。いつも違うからこそ新しい」の言葉を残したピアニストは？
7. 幻のピアニストと称され、1970年大阪万博博覧会を機に初来日。ホール備品のスタインウェイのほか、計6台ものピアノを用意されたピアニストは？
8. 反抗的で強烈な自我の持ち主だったが、狼のおかげで自分の居場所を見出せたピアニストは？
※ 彼女の奔走により1999年、ニューヨーク・ウルフ・センターが発足し、毎年数千人の子どもが狼との出会いから計り知れない命の力をもらって帰っている。

答え 1.ジョン・フィールド、2.フランツ・リスト、3.アルトゥール・ルービンシュタイン、4.アンドレ・ワッツ、
 5.マイラ・ヘス、6.ウラディーミル・ホロヴィッツ、7.スヴァトスラフ・リヒテル、8.エレヌ・グリモー

23人のピアニストをそれぞれ1章とする読み物で構成されており、計318人が取り上げられている。
 また、ピアニストを歴史的に考察していけるように師弟の系譜を単純化した図も掲載されている。
 (あとがきより)

他の「おもしろ雑学事典」

- 探し方: タイトルにオモシロザツガクジテンと入力し、フレーズ検索。(一部シリーズではないものもヒットする)
 オーケストラ楽器<J99-935>、[音]<J102-160>、音楽<C64-163>、音楽家カップル<J111-219>、オペラ<J95-262>、ギター<J112-259>、クラシック<J96-647>、コンクール<J106-904>、ジャズ<C65-284>、ジャズ名盤<J113-146>、ノーベル賞<J97-204>、バイオリン<J111-645>、バレエ<J108-871>、ピアノ<J103-868>、ミュージカル<J97-212>、モーツァルト<J107-324>、ラテン音楽<J112-260>、ロック<J99-891>、管楽器<J112-258>、作曲家<J107-743>、指揮者<J108-332>、吹奏楽<J107-742>、邦楽<J98-161>、民族音楽<J95-432>
※出版は全てヤマハミュージックメディア

● たかだ りょうこ 2〜3年前にエレヌ・グリモーさんの演奏会を聴きに行きましたが、可愛らしさと力強さを合わせた魅力的な方でした。CDを購入し、サインもしていただきました★